

今後取り組むべき都市づくりの課題と方向性

第1回策定協議会等で協議した事項

①現在の都市マスでの課題

都市構造の再構築

- 既成市街地の再構築 ○都心の再生
- 臨海部の都市空間の有効活用
- 農村集落機能の活力の維持・増進

高度化・多様化するニーズに対応した都市基盤の高度化

- 防災都市づくりの推進
- 高齢社会へ向けた都市生活基盤等の整備
- うるおいのある都市環境づくり
- 高度情報化時代への対応
- 都市型産業の誘致・育成を支える都市基盤づくり

交通体系の整備

- 広域交通体系 都市内交通体系の整備

明日へ開かれた都市づくり

- 広域的な都市連携の推進
- 世界に開かれた都市としての環境整備
- 都市づくりへの市民参加

②市民意識調査結果

【前回からの主な変化】

- 自然や歴史を生かす ○拠点性を高める
- 郊外大型店舗の立地抑制

【結果概要】

身近な地域の環境評価

- 子育て等の満足度が低下

まちづくりの優先事項

- 交通の利便性向上 ○暮らしの安全確保

歩いて暮らせるまちの優先事項

- 徒歩圏への生活利便施設の立地
- 安全な歩行空間の整備 ○公共交通の充実

まちづくりへの参加意向 ○5割が有り

③本市の特徴

- コンパクトな市街地を形成している
- 計画的に整備された市街地が形成されている
- 公共交通の利用頻度が高い
- 都市機能が集積した広域的拠点となっている

④第1回策定協議会等での意見

第2回策定協議会等で協議する事項

⑤社会情勢の変化に対する課題

都市マス改訂(H19年)以降の

都市計画関係法令等の改正

やその他の国の動向を整理し、

課題を抽出。

- 集約型都市構造(人口減少・超高齢社会)への対応
(コンパクト + ネットワーク)

- 大規模自然災害等への対応
(国土強靱化等への対応)

- 都市の活力向上への対応
(地方創生や観光立国の推進への対応)

- 持続可能な社会への対応
(都市の脱炭素化や公共施設の長寿命化等への対応)

今後取り組むべき都市づくりの課題

人口減少社会等に対応するための
地域特性に応じた拠点の形成

超高齢社会等に対応するための
交通体系の構築

大規模自然災害等に対応するための
防災・減災の土地利用等の推進

都市の活力向上や次世代を育む
環境整備の推進

うるおいのある都市環境づくり、
美しい景観づくりの推進

個性ある地域づくりに対応するための
住民参加の推進

都市の脱炭素化や財政の健全化等に
対応するための持続可能な都市経営

今後取り組むべき都市づくりの方向性

コンパクトで暮らしやすい都市

誰もが快適で移動しやすい都市

安心安全な都市

にぎわいと活力のある都市

自然・歴史・文化を生かした都市

自発的・自律的な協働の都市

安定・成熟した持続可能な都市

①～⑤
を踏まえ
整理